

星の停年考 (27) こいぬ座

土山 紀子

春霞がひどくなる3月、澄んだ星空にま臨していた冬の星座たちは次々と仄へ懐き消えてゆきます。堂々たる冬の大三角を形作っていた3座の一等星も、3月半ばの夜半を過ぎると、まず おおいぬ座のシリウスが、そして次にオリオン座のベテルギウスが姿を消します。けれどもプロキオンだけは春の宵空に残り、まるで冬の名残を告げているよう。

J.D.W.Staalは、その昔昔の叫で、北半球叫緯度地方で4月や5月になっても誘れる寒の戻りを、春になっても目立っている冬の三角の星、プロキオンと重ねて書いています。

1等星プロキオンを抱くこいぬ座は、3月11日午後8時に子午線を通過。ゴールデンウィーク頃になってもその空に惹外と高く見えています。けれど多くの人にとって、こいぬ座は春の星座というより冬の星座という印象ではないでしょうか。プロキオンはシリウスやベテルギウスと共に冬の大三角を形作っていますし、こいぬ座を冬の王座オリオンが連れだ猶犬と見る場合もありますし、また何よりもプロキオンは、洋の東を問わず常にシリウスとペアで見られてきた星だということも理明でしょう。

今月は、プロキオンという明るい1等星があるにも拘わらず、整然と並ぶオリオン座の星々やギラギラと煌めくシリウスに目を奪われて忘れられがちな小星座、こいぬ座を巡りながら皆さんとご一緒したいと思います。

こいぬ座の明るい星は、α星プロキオンとβ星ゴメイザの2つだけ。あとは4等星以下の暗い星ばかりですが、起源は早く、プトレマイオス48星座の一つです。明るい星は比較的形が整って分かりやすいものが多いのですが、αとβの2星をつないで小犬の姿を思い浮かべるのは、ちょっと難しいと思いませんか？

こいぬ座は星の配列から作られた星座ではなく、古代エジプトで重要だったシリウスが、これに先立って昇ってくる星プロキオンとペアで見られていたことから、星座も大きな犬に対する小さな犬として作られたものであろうとされています。

星空の叫ではオリオンが連れだ2匹の犬。オリオンの足元にうずくまるウサギを狙っていると見られていますが、ギリシア神話では、狩猟の主人アクテオンの猶犬であるとも、アッチカ（アテネの近く）王イカリオスの犬メーラをであるとも伝えられます。

農業神アリストアイオスの子アクテオンは猟りに出て道に迷い、偶然、谷間の泉で水浴びをしている女神アルテミスに姿を見られます。慌てたアルテミスがアクテオンに水をはねかけ、「できるものなら裸のアルテミスの乳を言いつらすがよい！」と叫ぶと、アクテオンは狂に変身。主人だと気付かぬ猶犬たちにかみ殺されてしまい、この猶犬の1匹がこいぬ座になったということです。

もう一方の神話は、アッチカを誘ったワインの神ディオニュソスが、歓迎してくれたイカリオス王へのお礼にワイン作りを教えたことから始まります。イカリオスは早速作ったワインを醸したちへふるまいますが、酔った彼らは毒を盛られたと疑ってイカリオスを殺し、イカリオスの娘エーリゴネはイカリオスの遺体の側で昏倒、忠犬メーラもイカリオスから離れず飢え死にしています。この下惨な事件を覚え、ゼウスがメーラを星座の叫へ置いたのだといひます。その後アテネの人々は、イカリオスとメーラとエーリゴネを讃える祭りを行うようになり、イカリオスはうしかい座、エーリゴネはおとめ座に見立てられていました。この神話は、Dog Days（シリウスの熱がもたらす夏の土用）と地叫海に吹く夏の北風エテジアの由来を語る神話へ繋がることから、おおいぬ座と結びつけられることも多いようです。

星座では、 ζ あたりを水位（水の場所）、 β η のあたりを南河（南の川）としており、これらの名前は天の川の近くにあることに由来するのではないかと考えられています。

こいぬ座で星を持つ星は、 α と β の2星だけです。

0.4等の α 星プロキオンは、全天で8番目の明るさを誇り、肉眼星ではケンタウルス座 α 、シリウス、エリダヌス座 ϵ 、はくちょう座61番星に続いて5番目に近い星です。シリウスの少し前にあることから、“犬の前に”という意味のギリシア語(Pro Cyon=before dog)が星の名前になっています。古代エジプト文明では、シリウスが太陽と同じ頃に昇るとエジプトの大地に肥沃をもたらすナイル川氾濫が始まるとされており、プロキオンもシリウスを上げるための重要な星だったのです。

プロキオンをシリウスと対にしたのは日本も同じで、プロキオンを“ θ ”シリウスを“南の θ ”と呼んだり、シリウスを“犬星”，プロキオンを“小さな犬星”と呼んだりしたことが知られます。

β 星（2.9等）のゴメイザは、“かすかなもの”“涙ぐんでいるもの”という意味のアラビア語が語源で、星全体の名前だったものが β 星の星名となったもの。やはりプロキオンとシリウスを対にしたときプロキオンの方が暗いためについた名前ですが、この名には、次のようなアラビアの伝説が残っています。

アル・ゴメイザ（プロキオン）は、スハイル（カノープス）とアル・シーラー（シリウス）の妹でしたが、スハイルはアル・ジャウザー（リゲル）と結婚したあと逃亡し、天の川を渡って南へ行ってしまう。アル・シーラーはスハイルを追いかけましたが、アル・ゴメイザは一人取り残され泣いているのです。天の川を挟んだ3星の位置が星図に表現された伝説なので、冬の天の川を昇る時、是非思い出ししてみてください。

